

報道関係各位

2024年7月3日
株式会社クロス・マーケティング

AIがあっても「外国語が使えるようになりたい」人が半数 使えたらいいと思うのは「海外旅行で」「道を聞かれたとき」

－ 語学に関する調査（2024年） －

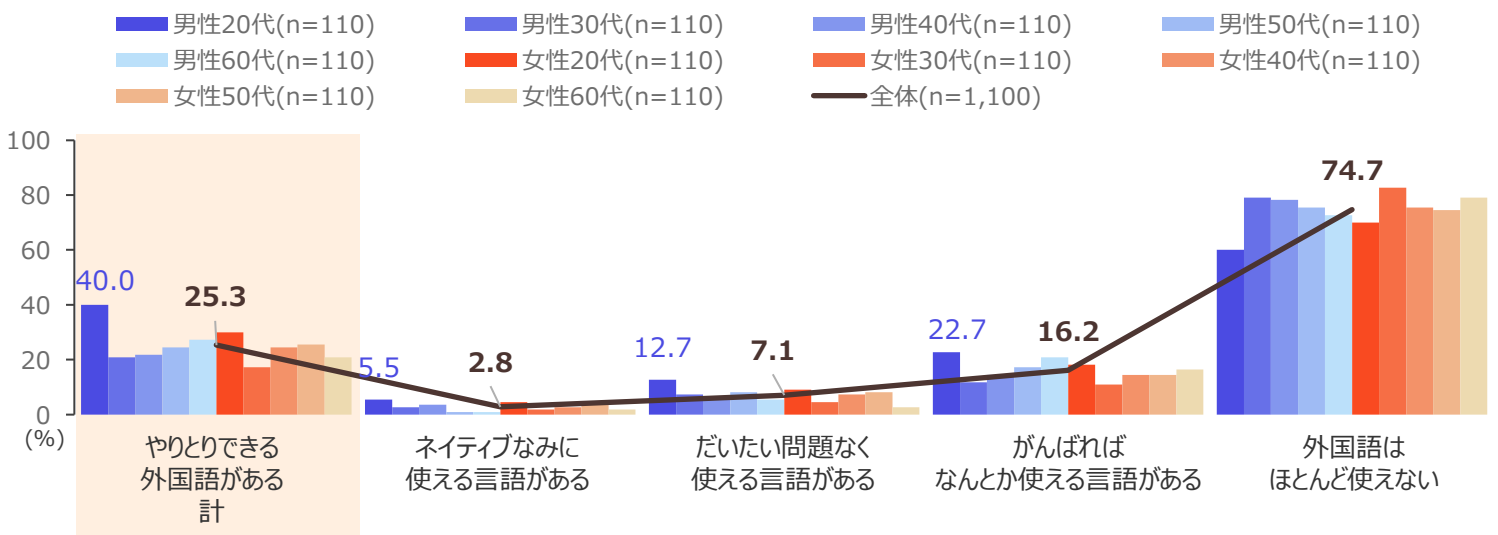
株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、全国20歳～69歳の男女を対象に「語学に関する調査（2024年）」を実施しました。外国語に関してどの程度、興味があるのでしょうか。今回は、「母国語以外にやりとりできる外国語の有無」「外国語の習得意向」「外国語が使えたらいいと思った時」「覚えたい・上手になりたい外国語」「外国語で助けたり・助けられたりしたエピソード」について聴取しました。

◆調査結果の続きはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20240703language/>

■調査結果

- ✓ **母国語以外に「やりとりできる外国語がある」人は25.3%で、「ネイティブなみに使える」「だいたい問題なく使える」はともに1割に満たない。**
男性20代は「やりとりできる外国語がある」人が40.0%と高く、「だいたい問題なく使える」「がんばればなんとか使える」も高め。<図1>
- ✓ **外国語の習得意向は「一つの言語でも日常会話ができるようになりたい」が21.4%で、何かしら「外国語が使えるようになりたい」人は半数。**
20代では「流暢に使えるようになりたい」が高く、外国語への習得意向の高さがうかがえる。<図2>
- ✓ **外国語が使えたらいいと思った時は「海外旅行に行くとき」「外国の方に道を聞かれたとき」「外国語の映画やドラマを見るとき」「困っている・迷っているような外国の旅行者をみたとき」が上位。**
60代では「外国の方に道を聞かれたとき」「困っている・迷っているような外国の旅行者をみたとき」が高く、訪日外国人を助けるために使いたい意向がみられた。<図3>
- ✓ **覚えたい・上手になりたい言語としては「英語」が56.2%と圧倒的に高い。**
全体で2位にあがった「韓国語」は特に女性で高い。<図4>
- ✓ **外国語で助けたり・助けられたりしたエピソードは、ジェスチャーや単語だけでも頑張って何とかやりとりができて良かったという声が多かった。<図5>**

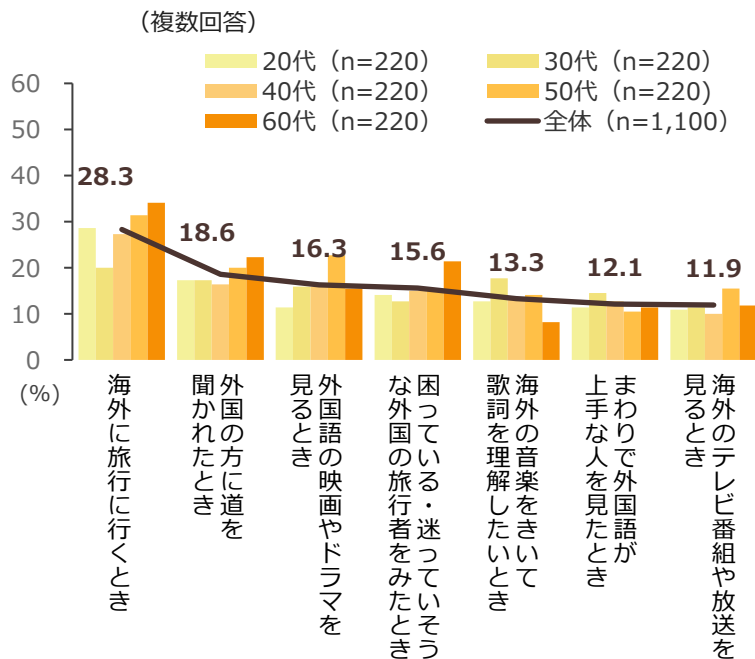
<図1> 母国語以外にやりとりできる外国語の有無（複数回答）



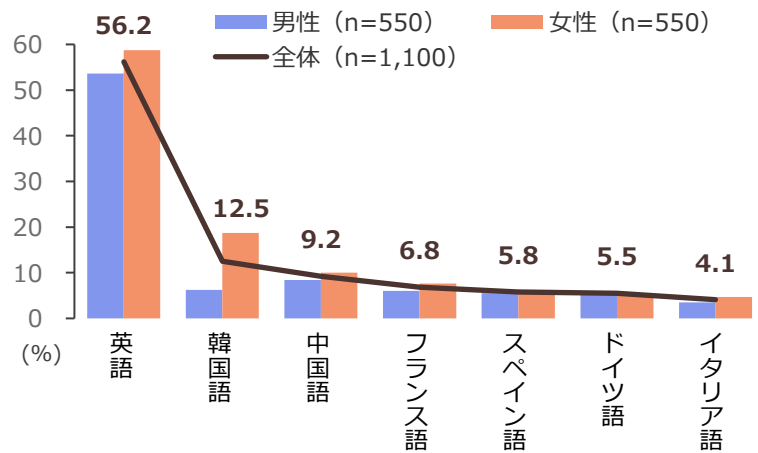
＜図2＞ 外国語の習得意向（単一回答）

	n=	いろいろな言語を流暢に使えるようになりたい		一つの言語だけでも流暢に使えるようになりたい		いろいろな言語で日常会話ができる程度になりたい		一つの言語でも日常会話ができる程度になりたい		これからはAIでなんとかなるので、特に覚えなくてもいい	特に興味はない	外国語を 使えるよう になりたい計
		8.3	11.0	9.6	21.4	5.9	43.8					
全体	(1,100)	8.3	11.0	9.6	21.4	5.9	43.8					50.3
20代	(220)	13.2	19.1	9.1	20.5	3.6	34.5					61.8
30代	(220)	5.5	11.8	12.7	17.3	6.4	46.4					47.3
40代	(220)	6.4	7.7	8.6	20.0	4.1	53.2					42.7
50代	(220)	8.2	9.1	8.6	23.2	6.8	44.1					49.1
60代	(220)	8.2	7.3	9.1	25.9	8.6	40.9					50.5 (%)

＜図3＞ 外国語が使えたらいいと思った時 TOP7（複数回答）



＜図4＞ 覚えたい・上手になりたい外国語 TOP7（複数回答）



＜図5＞ 外国語で助けたり・助けられたりしたエピソード（自由回答一部抜粋）

- 福岡中洲の屋台で一緒になったハワイから観光に来た日系人家族とほぼ英単語だけでその場を盛り上げた。（男性30代）
- 東京駅で迷っている外国の方に声をかけられてGoogle翻訳で道案内をして少し助けられた気がします。（女性20代）
- 大学生の息子と旅行をしたときに、海外の方がICカードを購入したくて、困っていた。息子に対応して、彼らはICカードを手にすることが出来た。息子が羨ましく、誇らしく感じた。自分も彼らに手をさしのべられたら良かったのと思った。（女性50代）
- 駅でバス待ちをしている時に空港に行けるバス乗り場を教えた時に感謝してもらえた。（男性20代）
- 駅でどのホームに行けばよいのか電光掲示板の表示だけではわからない観光者がいたときに片言の英語ではあったが案内することができた。（女性30代）
- 海外に旅行した時、他の旅行者に「写真を撮ってほしい」と英語で頼まれた。その時、とても丁寧な英語でやっとのことで通じた。（男性50代）
- 35年前、オーストラリアの空港の両替所で、高齢日本人が帰国時にアメリカドルトラベラーズチェックを日本円に交換しようとしていて、英語が通じずに近くにいた私に助けを求められた。私も片言ながら聞き取りはできたから説明して解決した。中学校レベルの私だけど国内でも困った外国人から声をかけられる経験は多い。単語、身振り等でも意外に通じるみたいです。海外旅行経験多いから度胸があるかもしれない。（女性60代）

■ 調査項目

- 属性設問
- 母国語以外にやりとりできる外国語の有無
- 外国語の習得意向
- 外国語が使えたらいいと思った時
- 覚えたい・上手になりたい外国語
- 外国語で助けたり・助けられたりしたエピソード

◆クロス集計表のダウンロードはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20240703language/>

■ 調査概要

- 調査手法 : インターネットリサーチ (クロス・マーケティング セルフ型アンケートツール「QiQUMO」使用)
- 調査地域 : 全国47都道府県
- 調査対象 : 20～69歳の男女
- 調査期間 : 2024年6月28日 (金) ～30日 (日)
- 有効回答数 : 本調査1,100サンプル

※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

【会社概要】

- 会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <https://www.cross-m.co.jp/>
- 所在地 : 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F
- 設立 : 2003年4月1日
- 代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
- 事業内容 : マーケティングリサーチ事業、マーケティング・リサーチに関わるコンサルティング

◆本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先◆

広報担当 : マーケティング部 TEL : 03-6859-1192 FAX : 03-6859-2275
E-mail : pr-cm@cross-m.co.jp

«引用・転載時のクレジット表記のお願い»

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。
<例> 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」